

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 協同福祉会	代表者	村城 正	法人・ 事業所 の特徴	お年寄りから子どもまで、みんなが安心して暮らせる地域や町であってほしい。それが私たちの願いです。という目標を持ち、グループホーム・小規模多機能・地域サロン・子ども食堂等を運営しています。
事業所名	あすならホーム柳本	管理者	森川 剛志		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	5人	人	人	1人	人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	引き続き、風通しの良い職場になるように、職場環境を整えていく。 利用者本位のケアも継続して行なっていく。	職員間で何でも話しやすい環境になってきている。 コロナ禍で制約のある中で、家族との協力を行ないながら、利用者を第一に考えケアをしている。	良い意見が多かった。	より良い職場環境を目指して、働きやすい環境を整えていく。 コロナ禍でも出来る範囲で利用者本位のケアを実施していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症対策は万全に行ない、安心して来て頂けるように努力をしていく。 地域の方と協力して、地域に根差した事業所を目指していく。	感染症対策を徹底して、事業所には安心して来て頂けるように努力を行なっていた。 コロナ禍で地域の方との協力があまり出来なかった。	良い意見が多かった。	感染症対策は引き続き、万全を期して行ない、安全に来て頂けるように努力をする。 コロナ禍でも出来る範囲で地域の方と協力をしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	今後も地域の方との信頼関係を構築し、相談には真摯に対応する。 感染症予防を行ない、徐々にランチ・買い物バスを再開していく。	地域の方からの相談で利用に繋がったケースがあった。 コロナ禍でランチ・買い物バスを実施することは出来なかったが、地域学習会を春・秋に計6回実施出来た。	良い意見が多かった。分からないとの意見もあった。	地域の方とのつながりを大切にし、相談には早急に対応する。 感染症予防を行ない、地域学習会を春・秋に開催する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナの状況を見極めて、地域行事へ積極的に参加する。 地域のイベントの情報を収集する。	今年もコロナ禍で中止になる行事も多く、また、感染予防の観点からも積極的に参加をすることが出来なかった。	良い意見と分からないとの意見が多かった。	コロナの状況を見極め、また感染症対策も万全に行ない、地域の行事に参加する。 情報収集も積極的に行なう。
E. 運営推進会議を活かした取組み	コロナの状況を見極めて、開催出来るようになれば、多くの方に参加して頂けるようにアプローチ	今年もコロナ禍で運営推進会議の開催が出来なかった。 レジメ等は市役所・包括・自治会長・	運営推進会議は実施出来ないが、毎回説明に伺っているので、良い意見が多かった。	運営推進会議が実施出来るなら多くの方に参加して頂けるようにアプローチをする。

	を行なう。	民生委員等へ配布しホームの状況を説明した。		実施できない時は自宅に伺い、事業所の状況を丁寧に説明する。
F. 事業所の 防災・災害対策	コロナの状況を見極めて、地域の方と一緒に防災訓練を行なう。	コロナ禍で地域の方と一緒に防災訓練を行なうのは中止したが、事業所の職員・まちかどネットのみで年2回実施した。	地域の方と一緒に防災訓練が実施出来ていないので、分からないとの意見が多かった。良い意見も多かった。	コロナの状況を見極めて、地域の方と一緒に防災訓練を行なう。地域に防災訓練が実施されれば、参加する。